

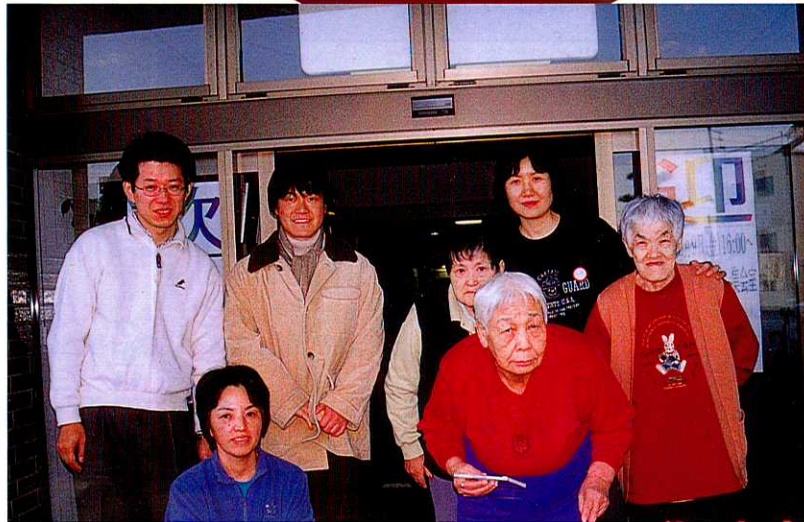
せいわ



☆発行所☆
府中 静和寮
広島県府中市土生町1636番地の1
TEL (0847) 41-2375
FAX (0847) 41-8620
☆発行人☆
寮長 大橋 亘

日本を代表するロックグループ元「X-JAPAN」のボーカリスト、Toshiさんが、なんとこの府中静和寮に慰問ライブにやってきた。この話が決まったのは、ライブを行なう二日前だった。ウソのような本当のような、わけがわからない状態だった。しかし、本当にやってきたのだ。ファンならばたまらない事件であろう。

元「X-JAPAN」Toshiさん



静和寮へ慰問ライブ

Toshiさんは、解散後積極的に、全国をまわりながらミニライブをおこなっている。その空き時間を利用して、老人福祉施設や、知的障害施設に行き、ライブを行っているのだという。

ライブを行なう日は、三月九日、会場といってもライブを行なうような環境設備は当然なく、あたふたしながら準備を行なった。近隣施設にもライブがあるの

玄関前で記念撮影。この後上下町でライブを行なう。

でと声をかけ、玄関先には歓迎の看板を作り、できる限りの範囲で当日を迎えた。Toshiさんが到着し、ライブが始まるまで、果たして静和寮の利用者の方々は、どういった人物なのか、何を歌ってきたのかなど知る由もない。



超有名人だということだけは、話していたが、いわばそのジャンルに《興味がない》だろうと勝手に考えていた。ところがライブが始まると、その歌声、歌詞に耳を傾け、その空間を堪能していた。Toshiさんのことを知らない利用者さんは、Toshiという過去に一世を風靡した人物を見ていたのではなく、単にステージで歌を唄って



にぎりしめては離さずいた大切な君はいないか。どんなときにも寂しいと決まっていた。今でもそんな君はいないか。決して言葉に出来ないくらい大切な何かがあって、決してそれを離さず命けずつてまでも、今でも誰かを守っていないか。



夢をつかむ人生より大地と共に生きたい。風の中輝いている君を見ていたい。

正直な道を歩いていた。かえらない青春にも悔しいように、自分のこと捨てていないか。ばかみたいにまっすぐにとびこんでいった。あの頃の君はいないか。君はいないか。そんなそんな、そんな君はいないか。傷ついてもまだ信じている君はいないか。傷ついてもまだ愛してる、君はいないか。

ポパイ団子

レシピは4面に記載しています。

ディサービス通信

介護2）さんは、年末にカラオケ大会で替え歌を唄ってから『デイサービスのテーマソングつくって、皆で唄いたい』と、この歌を考えてくださいました。

←（左の歌詞）現在九十七歳の藤本キシヨ（要支援）さんは、長年ゲートボールを楽しんでおられます。こ



の歌は十数年前につくられたそうですが「ぜひデイサービスの皆さんと一緒に唄いたい」と自筆の歌詞を持ってこられました。藤本さんは、この他にも自作の歌があり、時々デイサービスでも披露していただきます

（短歌選歌）山岡保子（要支援）さんと正門クマヨ（要

支援）さんは、年明けにデ
イサーピスで俳句を作っ
てから「頭の体操に」とご
自分でも作ってみようと思
われたそうです。正門さん
は絵を描くことも好きで、
現在デイサーピスの食堂に
も作品を飾っております。
一度見に来られては！
最後に介護保険がスター

待ちましょ**次回のサービスを**

力の抜き差しコツがある

山岡保子

さむざむと 小雪ちらつく くもり日に
桜のつぼみに 春のいぶきを

デイの友 笑へば 顔のしわものび

ひさかたに 妻と出逢いし 嬉しさも
醒めてむなしき 夢なりしかと

正門クマヨ

老いて知る 今を大事に 生きること

淋しさに 友と語れば 樂なり



正門クマヨさん



山岡保子さん



トして一年が過ぎました。
この一年間にデイサービス
を利用された方は、二四六
人、延べ七五〇〇人にのぼ
ります。

皆さん、心身の状態は様々ですが「デイにくることを楽しみにしている」と言って下さる方が多く、私たちもそれを励みに介護させていただいています。今後とも皆様に楽しんでいただけるレクリエーションを考えていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



この季節になると、庭の梅の木に小さな可愛いお客様が一羽、二羽とやってきて、愛をささやいてくれているのか、今日の行程を話し合っているのか、そのうち家族かな、三羽、四羽とやって来ます。お茶を飲みながら眺めていると、とても幸せな気分になります。我が家においても、こういう風でありたいと、つくづく思います。

遇におかれても、立ち向っている強い自分になれるよう、そして、職場、家庭においても我を捨て、和を大事に感謝の気持ちを忘れずに、積極的に行動し、楽しく送りたいと思います。

昇高 正枝

私は昨年十一月より、和菓子教室へ通い始めています。友人より一日体験入学ができるとの誘いがあり、和菓子といえば馴染みがなく、イメージが湧かなかったが、受講してみることができました。

初めはクラス別に（六名から八名位）分かれ、実習と講義が行われた。受講したクラスの中には十代から六十歳以上の方もおられ、アットホームな雰囲気がありました。

皆さん初めての方ばかりですが、テクニックも未熟な部分も技術さえしつかりマスターすれば、誰にでも美しく作れると思った。

また、綺麗な仕上がりにも驚くほどでした。出来ればまた、もう一度作ってみたいと思います、月一回の受講を楽しみに通っている。和菓子ひとつをとっても、その伝統と奥深さを知ることが出来る。春は桜餅、夏は水羊羹、秋は柏餅、冬は蒸し菓子、焼き菓子など、鮮やかな四季が垣間見れます。

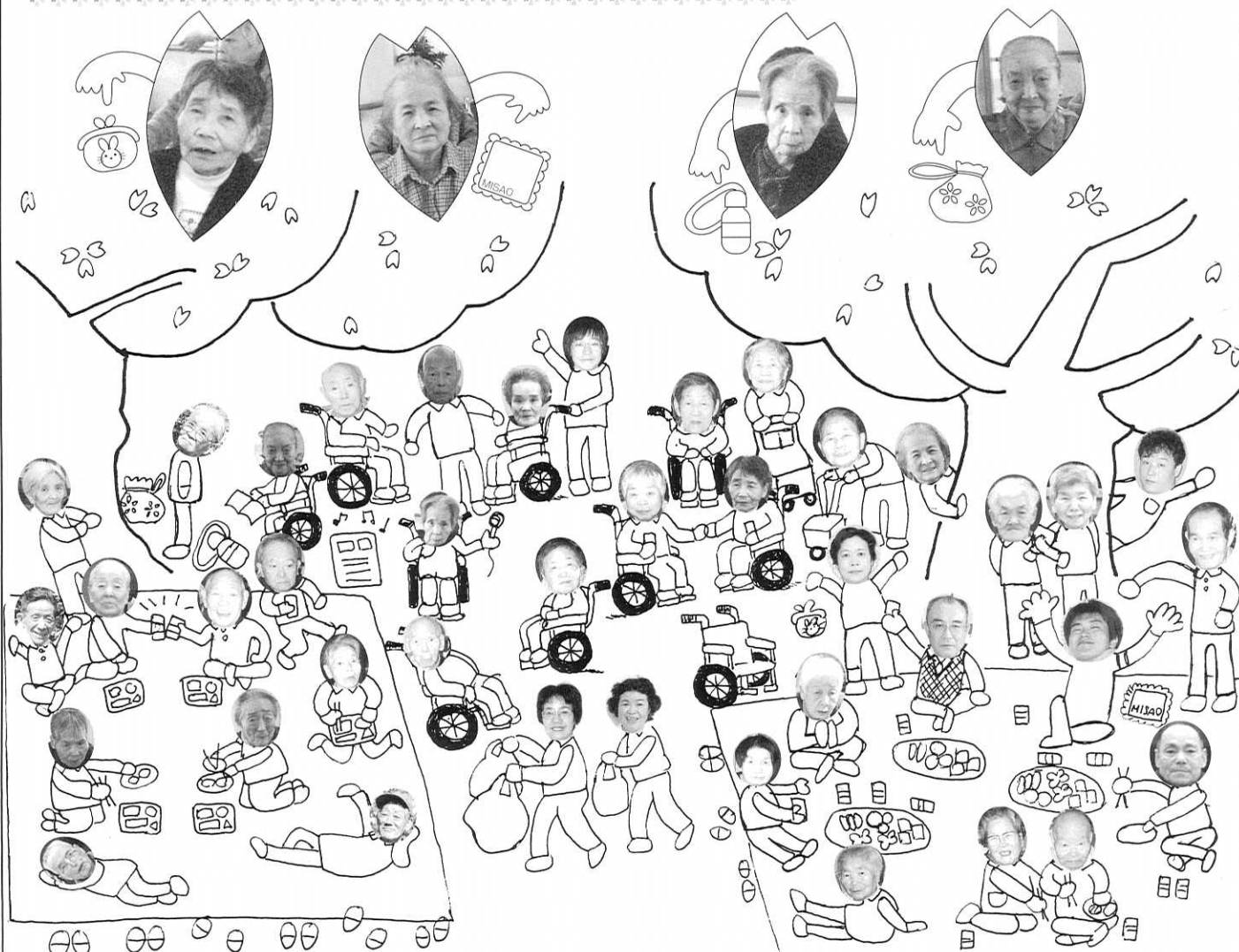
和菓子はやはり手作りの良

さに魅力があるのではないでしようか。
自分風のオリジナルが出世、生地の微妙な色付けなどを盛り込むことができ、独特の技法で表現できるのだと思う。毎回、多彩な作品と手法でバリエーションの豊富さに驚き、作る楽しさが膨らんでいる。今後、数々の和菓子にも挑戦して行きたい。

稲葉 京子

春は何といってもサクラ

今年も恒例の花見に出かけました。さて、下の4人の人はいったいどこにいるのでしょうか？ それから、なんと落とし物をされたようです。どこにあるか探してください。
追伸 施設長も知っている方は、探してみてください。



ほのぼの日記

“お得なバイキング”



車の軌跡に思いを寄せて

が人力車に乗っているのを見た時でした。友達の家で遊んでいた私は「あれ、お父さんが人力車に乗ってるわ」とびっくりしました。その時代では、人力車に乗

たということです。その次に見たのは本当の車で、学校で勉強しているとき、先生が「みんな、車をはしりようで、はよう来てみ」と言われ、其れを

聞いてみんな一斉に窓からのぞいて見ました。子供心にとってもかつこよく見えま

なつた今、時代の流れというものをつくづく感じています。時折、静和寮の窓から車が何台も忙しそうに走って行くのを見て、不便さはあったものの故郷の長閑な風景を懐かしく思います。

今の世の中、車社会。一家に二、三台あるのも珍しくないのではないのでしょうか？ 私たちの若い頃は、何処でも歩く時代です。私の生まれは、府中市の木野山町ですが、福山まで歩いていったことがあります。私が車らしきものに初めて出会ったのは、お父さん

る人も少なく見ることも珍しいことでした。それがどうして乗っていたかという選挙の時だったと思います。その頃の選挙権といえば、皆に与えておらず、定められた税金を納めている人だけに限られていた父は、その選挙に行くことになり、人力車に迎えにきてもらっ

福山で二晩旅館に泊まり、別れの会をしたり、福山の町を見て歩いたりして、しばしの別れを惜しみました。今でこそ、外国へ行くのは何でもないことですが、当時としては「もうこれで最後かもしれない」という気持ちもあり、とても複雑な思いでした。

一月五日から十五日間、きく寮でデイサービスで実習させていただきました。前略 職員さんにも利用者さんにもたくさん助言、指導いただき、日常生活の基本的な介護や行事、レクリエーション援助など、新しいことを毎日たくさん学



平迫 ナツ

実習記録

“頑張っ”に励まされ

なつた今、時代の流れというものをつくづく感じています。時折、静和寮の窓から車が何台も忙しそうに走って行くのを見て、不便さはあったものの故郷の長閑な風景を懐かしく思います。

ポパイ団子



160kcal

材 料	分量	調 理 法
白玉粉	120g	1 ほうれん草をゆでて、みじん切りにし、細かくたたく。
ほうれん草	100g	2 白玉粉に水と1を加えて、耳たぶ程度の固さに調節する。
水	適量	3 鍋に湯をたっぷり沸かし、2を団子に丸めて、中央を指先で軽く押さえてから、湯の中に入れてゆでる。浮き上がってきたら、そのまま1～2分間ゆでて、水をとる。
ゆで小豆	小1缶	4 3を水気をきって、器に盛り、ゆで小豆を上にかけてできあがり。

ほうれん草の代わりに人参、春菊、もちろん今の季節のよもぎ等を使ってもOKです。



きく寮で実習する掛江さん

の弱い部分をもつとでできるように努力して、またぜひ静和寮に来たいと思っています。後略 最後には静和寮でお世話になったすべての方々に、今回の実習ではたくさんのお話を学び、実践することができ、自分に

べて、とても勉強になりました。自分の提供する介護

とつてとてもよい勉強になりました。大変お世話になりました。どうか、静和寮の職員の方々に利用者の方々に、また私にたくさんのお話を教えてくださるとうれしいです。十五日間、本当にありがとうございました。

掛江 久美

二月五日からの三週間、たくさんの方にご指導いただきました。本当にありがとうございました。前略 始めは不安で声かけもうまくできませんでしたが、利用者さんの笑顔や「ありがとう」という言葉を聞かされた「頑張った」という気持ちになりました。



あやめ寮で実習する石口さん

そして、コミュニケーションの大切さと難しさも知りました。後略 この三週間の中で出会った人たちが学んだことを忘れず、これからの学習に生かして行きたいと思っています。

石口 智美